

SHINJO妊娠期からの支援における多職種連携のあり方を考える会
第2回 研修会

妊娠期から子育て期の家族を支える
～父親の産前・産後のメンタルヘルスの実態をふまえて～

このたび、父親の産前・産後のメンタルヘルスの実態について理解を深め、妊娠期から子育て期の父親も含めた家族への支援に関する実践や課題について共有することを目的として、研修会を開催することになりました。

皆さまのご参加をお待ちしています。

参加
無料

【日時】 2025年9月17日(水)13時-17時

【会場】 神戸女子大学ポートアイランドキャンパスF館3階F304

(今回は会場参加のみとなります)

【対象】 妊産婦・家族の支援に携わる専門職等(医師、助産師、
保健師、看護師、医療ソーシャルワーカー、心理士、自治体担当者等)

【定員】 70名

研修内容

申込期間

2025年6月23日(月)～2025年9月2日(水)12:00

【第1部】 パネルディスカッション

● 『父親の産前・産後のメンタルヘルス』

演者：村上寛氏（信州大学医学部 周産期のこころの医学講座）

● 『家族を対象とした多胎育児支援 - 求められる父親への支援とは - 』

演者：糸井川誠子氏（NPO法人ぎふ多胎ネット代表）

【第2部】 グループワーク

* 詳細は裏面

* 希望者には修了証を発行します。

申し込み方法

申し込みフォームよりお申し込みいただけます

申し込みフォーム

URL

<https://forms.office.com/r/TDwnP3v5Uv>

QRコード



<プログラム>

時間	内 容
12:30～13:00	受付
13:00～13:10	開会のごあいさつ
13:10～14:50	【第1部】 パネルディスカッション ・村上寛氏(信州大学医学部周産期のこころの医学講座) 『父親の産前・産後のメンタルヘルス』 ・糸井川誠子氏(NPO法人ぎふ多胎ネット代表) 『家族を対象とした多胎育児支援-求められる父親への支援とは-』
14:50～15:00	休憩
15:00～16:55	【第2部】 グループワークとディスカッション 1)グループワーク ・妊娠期から子育て期における父親も含めた家族への支援に関する実践や課題について互いに共有する ・第1部(パネルディスカッション)を通しての学び、気づき、妊娠期から子育て期における父親も含めた家族への支援について意見を聴き合う 2)全体ディスカッション:各グループからの発表とディスカッション
16:55～17:00	閉会のごあいさつ

演者紹介

村上寛氏(信州大学医学部周産期のこころの医学講座)

医師。信州大学医学部内に日本で初めての周産期メンタルヘルスに特化した大学講座「周産期のこころの医学講座」を創設。信州大学医学部附属病院「周産期のこころの外来」、「周産期の父親の外来」にて、妊産婦や父親のメンタルヘルスサポートや産後うつ病の治療を行う。

糸井川誠子氏(NPO法人ぎふ多胎ネット代表)

2006年、岐阜県内全域の多胎家庭を支援する公助団体として、「ぎふ多胎ネット」を創設。多胎プレパママ教室に始まる妊娠期から育児期の切れ目のない支援と、それを可能にする行政・医療機関や多胎育児経験者(ピアサポーター)との官民の共同による支援は厚生労働省の先進事例として全国に紹介され、平成30年に厚生労働省子ども家庭局長賞を受賞。

「SHINJO妊娠期からの支援のための多職種連携のあり方を考える会」について

近年、妊産婦の孤立・孤独が社会問題となっており、さらにコロナ禍を経て妊産婦のメンタルヘルス問題も深刻化している中、妊産婦と家族への支援の重要性はさらに増えています。ただし、妊産婦や家族のニーズは多様であることから、関係する機関や職種が多岐に渡るなど課題が多く、有機的な連携は容易ではありません。

このような状況を受け、このたび、神戸女子大学(SHINJO)看護学部教員らにより、「SHINJO妊娠期からの支援のための多職種連携のあり方を考える会」を設立しました。本会は、妊産婦と家族のニーズに基づく支援を妊娠期から継続して行うため、多職種が互いの役割・機能の理解を深め、連携上の課題を具体的に明らかにし、連携のあり方を検討することを目的としています。

<会場へのアクセス>

神戸女子大学 看護学部

〒650-0046 神戸市中央区港島中町4-7-2

➤ 三ノ宮駅・三宮駅からは、ポートライナーの「神戸空港行き」「北埠頭行き」を利用し、みなとじま駅で下車してください(徒歩約10分)

<問い合わせ先>

小坂 素子(神戸女子大学・看護学部)

〒650-0046 神戸市中央区港島中町4-7-2

e-mail : kango-renkei@yg.kobe-wu.ac.jp